

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	セントラル・パーク こはま		
○保護者評価実施期間	R8年2月1日 ～ R8年2月28日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	R8年2月1日 ～ R8年2月28日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	R 8 年 3 月 1 0 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもの特性に応じた個別支援計画を作成し、計画に基づいた支援が行われていること。	アセスメントや日々の行動観察を基に児童発達支援計画を作成し、職員間で共有しながら支援を実施している。	モニタリングや職員間の情報共有を継続し、支援内容の質の向上を図る。
2	職員間の連携を図りながら支援を行う体制が整っていること。	支援開始前後に職員間で打合せを行い、支援内容の確認や振り返りを実施している。	振り返り内容の記録を充実させ、次回の支援改善につなげる。
3	保護者との情報共有を行いながら支援を実施していること。	日々の支援の様子やこどもの状況を保護者へ伝え、共通理解を図っている。	保護者との相談機会を確保し、家庭との連携をさらに強化する。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域のこどもとの交流機会が少ないこと。	地域交流の機会を設ける取り組みが十分に実施できていないため。	地域資源の活用や行事等を通じて交流機会の創出を検討する。
2	家族支援プログラムの実施機会が限られていること。	保護者向け研修や家族支援プログラムの実施体制が整っていないため。	保護者向けの情報提供や相談支援の充実を図る。
3	保護者同士の交流機会が少ないこと。	保護者会等の開催機会が少ないため。	保護者同士の交流機会の提供について検討する。